

製品名: CA VB ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07771

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	CA5B
別名	CA5B; Carbonic anhydrase 5B; mitochondrial; Carbonate dehydratase VB; Carbonic anhydrase VB; CA-VB
遺伝子 ID	11238.0
SwissProt ID	Q9Y2D0
免疫原	抗血清はヒト CA5B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

背景

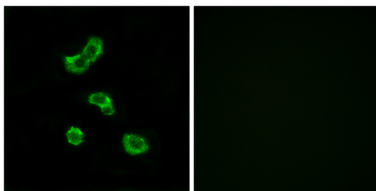
炭酸脱水酵素 (CA) は、二酸化炭素の可逆的な水合を触媒する亜鉛金属酵素の大きなファミリーです。呼吸、石灰化、酸塩基平衡、

骨吸収、房水、脳脊髄液、唾液、胃酸の生成など、様々な生物学的プロセスに関与しています。CAは組織分布と細胞内局在において広範な多様性を示します。CA VBはミトコンドリアに局在し、他のミトコンドリアCAであるCA VAと最も高い配列相同性を示します。CA VBは、肝臓に限定されているCA VAよりも広い組織分布を示します。組織分布のこの違いは、2つのミトコンドリア炭酸脱水酵素が異なる生理学的役割を担うように進化したことを示唆しています。 [RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: $H(2)CO(3) = CO(2) + H(2)O$,補因子: 亜鉛,機能: 二酸化炭素の可逆的水和,類似性: α -炭酸脱水酵素ファミリーに属する,組織特異性: 心臓、脾臓、腎臓、胎盤、肺、骨格筋で最も強く発現する。肝臓では発現しない。,

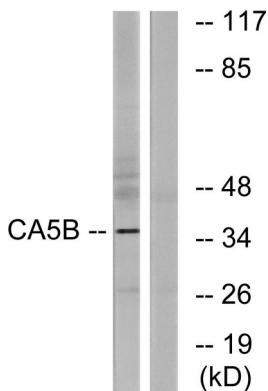
研究分野

窒素代謝;

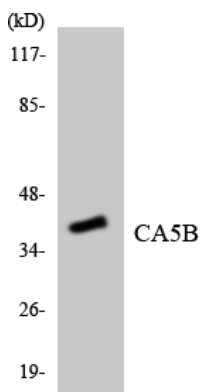
画像データ



CA5B抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。

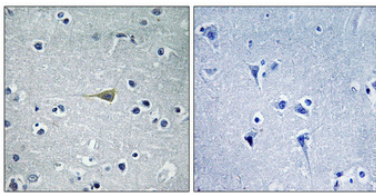
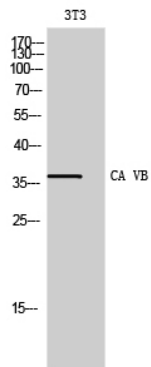


CA5B抗体を用いたNIH/3T3細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CA5B抗体を使用したHT-29細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

CA VB ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。